愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	基礎演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

基礎演習Ⅱでは、基礎演習Ⅰに引き続き大学生活の更なる充実を目指して、グループワークを中心として、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高めるための学習や活動を行う。この科目では、テーマを設定したレポートの作成やプレゼンテーションを通しての研究のまとめ方と発表の仕方を学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。授業の内容に応じて、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークを取り入れ、学生相互の経験交流や意見交換をとおして、お互いを知り、学び合う関係づくりを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	後期ガイダンス、カリキュラムの説明	前期の学びをふりかえり、後期の内容・カリキュラムを確認する。各自が参考にする履修モデルを理解する。	□
第2回	スタディ・スキルズ「NASAゲーム」	NASAゲームをとおして、グループダイナミクス、グループ効果について学習する。	□
第3回	スタディ・スキルズ「グループワーク～デートDV防止」	デートDV防止のためのグループワークをとおして、ジェンダーバイアスに気づき、デートDVを防止するための方法についてディスカッションする。	□
第4回	スタディ・スキルズ「調査研究方法～インタビュー」	調査研究方法としてのインタビューの方法について学び、協同学習テーマに関するピアインタビューを行い、一次情報を整理する。	□
第5回	スタディ・スキルズ「調査研究方法～アンケート」	調査研究方法としてのアンケート（質問紙調査）の方法について学び、協同学習テーマに関するアンケートを実施し、一次情報を整理する。	□
第6回	スタディ・スキルズ「研究分析方法～結果の集計・グラフ化」	前回のアンケート調査の結果を集計し、表作成やグラフ化などの見える化の方法について学び、実践する。	□
第7回	レクリエーション大会	スポーツを通した交流・レクリエーション・仲間づくりを行う。	□
第8回	スタディ・スキルズ「KJ法」1	協同学習テーマの実態に関する一時情報をKJ法を用いて集約し、グループワークをとおして、課題を明確にする。	□
第9回	スタディ・スキルズ「KJ法」2	前回のKJ法により明らかにした課題に対する問題解決のアイディアをKJ法のグループプロセス（ブレーンストーミング→グループ化→課題の関連発見）をとおして、出し合い、グループとしての提案をまとめる。	□
第10回	プレゼンテーション「プレゼンテーションとは何か」を学ぶ	資料に基づき、「プレゼンテーションは何か」を学ぶ（テキスト第7章）。	□
第11回	プレゼンテーション「テーマと発表内容の決定方法」を学ぶ	資料に基づき、「テーマと発表内容の決定方法」を学ぶ（テキスト第8章）。	□
第12回	プレゼンテーション「準備の仕方、レジュメやポスター発表」について学ぶ	資料に基づき「準備の仕方、レジュメやポスター発表」について学ぶ（テキスト第II部　パワーポイント）。	□
第13回	プレゼンテーション「発表」の方法について学ぶ（１）	作成したプレゼンテーションの資料を発表する（１）	□
第14回	プレゼンテーション「発表」の方法について学ぶ（２）	作成したプレゼンテーションの資料を発表する（２）	□
第15回	スタディ・スキルズのまとめとふりかえりテスト	演習全体をふりかえり、これまでにおこなった課題からまとめテストを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、2時間程度、関連資料、新聞、図書などを読んで準備する。 事後学習として、2時間程度、基礎演習で学んだことをまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業にて前回提出された課題（要約、レポート等）についての復習を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	スタディスキルズの相互学習を通して、学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	スタディスキルズの相互学習を通して、基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	スタディスキルズの相互学習を通して、多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題に対する提出物80%(グループワーク課題、スタディスキルズ等）、プレゼンテーション20%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	大学生　学びのハンドブック［6訂版］ 世界思想社	978-4790717911
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	長尾佳代子・村上昌孝『大学1年生のための日本語技法』ナカニシヤ出版	978-4-7795-0902-5
2	鎌田美千子・仁科浩美『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』スリーエーネットワーク	978-4-88319-681-4
3	後藤芳文ほか（2014）「学びの技　14歳からの探究・論文・プレゼンテーション」玉川大学出版部	9784472404979
4	佐藤 望編著（2020）「アカデミック・スキルズ（第3版）――大学生のための知的技法入門」慶應義塾大学出版会	978-4766426564
5	『ソーシャルワーク演習（社福専門）』［初版］弘文堂	